



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 5月号
令和6年4月30日発行

～目標に向かう過程を大切に～

さわやかな風と共に、耳を澄ますと三笠の山々から様々な鳴き声が聞こえてきます。田舎育ちの私は、鳥や虫、カエルなどの鳴き声を日常のミュージックとして聞いて育ちました。ところが、三笠小学校では聞いたことのない鳥の鳴き声が次から次に聞こえてきます。何人かの方にこれは何の鳴き声なのかとお尋ねしましたが、結局分からずじまいです。何と自然豊かな三笠の地なのだろうかと思いを馳せていると、先日はプールにカモが泳いでおり、子どもたちも大歓声をあげていました。新年度がスタートして1か月。自然豊かな三笠の地で、子どもたちは元気いっぱい学習に遊びにと励んでいます。1年生もずいぶん小学校生活に慣れ、自分でできることは自分でしようと一生懸命頑張る姿にたくましさを感じます。

また、学校の北側の三笠山にキンカンの実がたわわに実っています。一つもいでほおぼると、何ともいえない香りと果汁が口いっぱいに広がりました。後から知ったことですが、これは、地域の方が裏山が地滑りをして学校の校舎に危険が及ばないようにと根を張るキンカンの木を何本も植えてくださったそうです。今では大きな木に成長し、地域の方の思いと共に子どもたちの成長を見守ってくれています。

三笠小学校の伝統を感じるものの一つに、「気持ちの良い挨拶」があります。毎朝、「おはようございます。」と、しかもしっかりと目を合わせて挨拶する子どもたちの清々しい態度には元気をもらいます。人と人をつなぐ挨拶が自然とできる三笠っ子の良さが、日々の学校生活にも生きています。

先日、本校教職員の研修会で「子どもに付けたい学力とは」について協議しました。学力というと目に見える学力、いわゆる点数化されやすい知識や技能に焦点があたりがちですが、そういった学力はもちろんのこと、先生方から出た意見は「人と協力して物事を解決する力」や「粘り強く最後までやりきる力」などでした。そのような学力をつけるためには、そのような場面を意図的に設定しなければなりません。日々の授業、学校行事等で、目標を持ち粘り強く最後までがんばるような場面を設定し、教師はそれを支援し、達成感を味わわせることで、確かな学力が身に付いていきます。学校のあらゆる場で、目標に向かう過程で子どもが見せた価値ある行動を具体的にフィードバックし自己肯定感を高めていきたいと共通確認しました。5月も多くの行事があります。保護者・地域の皆様と共に、目標に向かう過程を認め励ましながら、一緒に子どもたちを育てていきたいと思えます。

最後に、4月27日(土)には、今年度初めての授業参観、6年生保護者対象の修学旅行説明会と標準服リユース、学級懇談会に多数ご出席いただき、ありがとうございました。子どもたちも関係の方々の温かいまなざしのもとで、安心してまた張り切って学習しておりました。また、家庭訪問では、学校では見られない家庭や地域での様子を見たり聞いたりできる大切な機会となりました。いただきましたご意見やご希望については、教職員で共有し、今後活かしていきます。

子どもたちが健康で安全な生活を送れますよう、引き続き保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「こどもまんなか児童福祉週間」

令和6年5月5日～11日

詳しくは、子ども家庭庁のホームページを
ご覧ください。



校長 高峰 真実
教職員 一同